

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10	沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-イ			
担当部課名	企画部科学技術振興課	事業実施(予定)年度	H27 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	知的・産業クラスター形成の推進 Ⅲ-5		
事業内容	沖縄県における「知的・産業クラスター」の形成を図るため、大学等の研究シーズの効率的な事業化を促進するため、産学連携の共同研究の取り組みを支援する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和7年度、令和9年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】			R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	236,091		217,786		198,431
		(b) 予算現額	236,091		212,386		198,431
		(c) 増減額(b-a)	0		▲ 5,400		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	236,091		212,386		198,431
	B. 執行済額		219,449		199,843		177,075
	うち交付金充当額		175,559		159,874		141,660
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		93.0%		94.1%		89.2%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・予算はマッチング支援及び共同研究の実施等に係る委託料、報酬、旅費等を計上した。 ・執行率は89.2%であり、主に受託者の人件費等の執行残が発生したことによるものである。 					
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	1. 大学等と企業の共同研究(出口志向型)	目標	28件	22件	15件	17件	
		実績	30件	20件	16件	19件	
	2. 1で実施した共同研究の成果を踏まえた事業化に向けた企業の研究開発	目標	3件	3件	2件	2件	
実績		3件	2件	2件	2件		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学等と企業との事業化を目指した共同研究について累計62件の支援を実施した。 ・出口志向型の共同研究成果を踏まえた事業化に向けた企業の共同研究(事業化促進)について累計8件の支援を実施した。 						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R7、9年度)
	1. 大学等と企業の共同研究(出口志向型)の支援実施	目標		22件	15件	17件	-
		実績		20件	16件	19件	-
	2. 1で実施した共同研究の成果を踏まえた事業化に向けた企業等の研究開発の支援実施	目標		3件	2件	2件	-
		実績		2件	2件	2件	-
	【R7成果目標】事業化に向けた企業の共同研究(事業化促進)について、製品化に結び付いた割合		目標				100%
	【R9成果目標】大学等と企業の共同研究(出口志向型)について、製品化に結び付いた割合		目標				10%
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業で配置したコーディネーターが県内大学等のシーズと企業ニーズの把握に努め、マッチングを図り、19件の共同研究を実施したことより、目標を達成した。 ・県外企業の誘致促進や県内企業の研究開発の高度化・育成を図り、事業化の促進につなげるため、大学等の共同研究の成果を踏まえた、製品化に向けた企業等が行う共同研究について公募により採択した2件の研究費の補助を実施したことにより、目標を達成した。 						

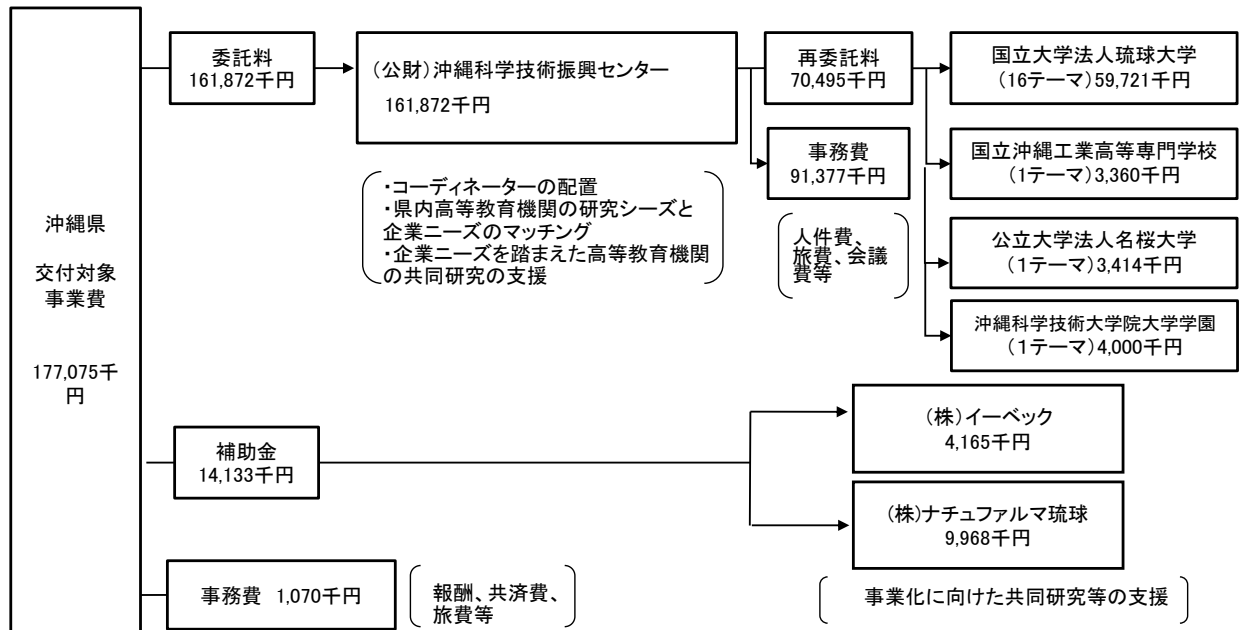
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・本県の知的・産業クラスターの形成に向け、OISTや沖縄高専の設立等により研究人材の集積が図られつつあるものの、県内では事業化を担う企業の集積が十分でなく、経営資源が乏しい中小零細企業が多いため研究開発の取り組みが十分に行えない状況にある。</p>	<p>・本県の知的・産業クラスターの形成を図るため、事業化を担う企業の集積促進や企業の研究開発の強化を図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・本事業における県内大学等と企業の共同研究の成果を活用し、県内で事業化に向けた応用研究を実施する企業に対して引き続き研究費を補助する。
 ・研究成果の事業化を推進するため、産学連携共同研究の研究マネジメントや技術経営等へのコーディネーターによる支援を強化する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
180,609	177,075	141,660	35,415	0	0	3,534



資金の流し、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザル方式により提案内容、実績、知識等を勘案した上で選定した事業者により、事業の継続性や効率性を勘案の上、引き続き委託しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、額の確定時において執行状況に関する帳簿、書類等进行检查しており適正であったと考えている。

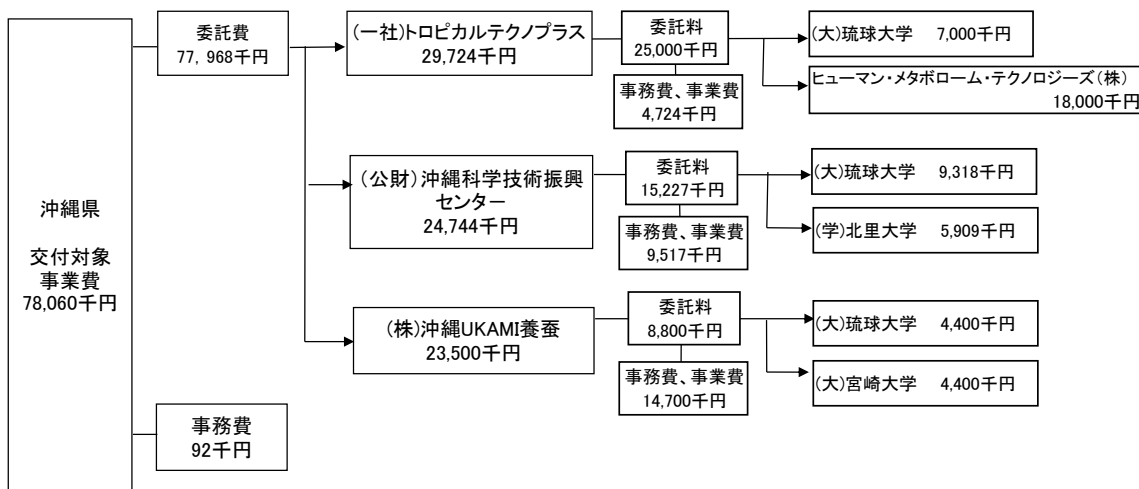
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	11	成長分野リーディングプロジェクト創出事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-イ			
担当部署名	企画部科学技術振興課	事業実施(予定)年度	H29 - R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	知的・産業クラスターの形成の推進 Ⅲ-(5)		
事業内容	先導的な研究を支援し、その成果を活用する企業や研究機関等の参入を促すため、健康・医療分野において、産学官が連携した共同研究を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（R4 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	157,774		81,327		79,671
		(b) 予算現額	157,774		81,327		79,671
		(c) 増減額 (b-a)	0		0		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計 (b+d)	157,774		81,327		79,671
	B. 執行済額		140,237		78,827		78,060
	うち交付金充当額		112,189		63,062		62,448
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率 (%) (B/A)		88.9%		96.9%		98.0%
予算の状況の説明		・予算額は、産学共同研究支援等に係る委託費等を計上した。 ・執行率は98%であり、主に研究委託費の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	○共同研究 1. エクソソーム精製技術に関する研究 2. 沖縄生物資源活用による創薬等研究 3. エリ蚕によるアフリカ豚熱ワクチン開発研究	目標			産学共同研究支援(3件)	産学共同研究支援(3件)	
		実績			産学共同研究支援(3件)	産学共同研究支援(3件)	
○共同研究 ・健康・医療分野 1. ヒト介入試験モデルの構築 2. 微生物創薬ライブラリー技術開発 3. 生物資源由来創薬リード化合物探索研究 ・環境・エネルギー分野 4. 土壌浄化技術に資する研究開発 5. 畜産排水処理技術に資する研究開発	目標	産学共同研究支援(5件)	産学共同研究支援(5件)				
	実績	産学共同研究支援(5件)	産学共同研究支援(4件)				
進捗状況説明	・成長分野(「健康・医療」分野)におけるリーディングプロジェクト創出に向け、産学共同研究を3件支援した。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (R4年度)
	○共同研究 1. エクソソーム精製技術に関する研究 2. 沖縄生物資源活用による創薬等研究 3. エリ蚕によるアフリカ豚熱ワクチン開発研究	目標			産学共同研究支援(3件)	産学共同研究支援(3件)	
		実績			産学共同研究支援(3件)	産学共同研究支援(3件)	
	○共同研究 ・健康・医療分野 1. ヒト介入試験モデルの構築 2. 微生物創薬ライブラリー技術開発 3. 生物資源由来創薬リード化合物探索研究 ・環境・エネルギー分野 4. 土壌浄化技術に資する研究開発 5. 畜産排水処理技術に資する研究開発	目標		産学共同研究支援(5件)			
		実績		産学共同研究支援(4件)			
	【R4成果目標】 研究事業者(委託先)による研究成果を県HPにより公表		目標				
【R4成果目標】 公表した研究成果を活用し、事業化に向けた応用研究等の実施		目標					3件
達成状況説明	成長分野(「健康・医療」分野)における産学共同研究を3件支援した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術研究がより効果的、効率的に地域経済へ波及するよう、その大元(共同研究の拡大、企業の参画等)となりえる、高いポテンシャルを持った県内大学等の研究シーズの掘り起こしと研究成果が必要であるが、一般的に研究の事業化までには時間とコストが掛かる。 	<p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの発達やグローバル化、ニーズの多様化等により、これまで以上にスピード感を持って新たな価値を創出することが重要となっていることから、新たな価値を生み出すイノベーションが絶え間なく創出される仕組み(イノベーション・エコシステム)の構築が求められている。
	今後の取り組み方針	
<p>・イノベーション・エコシステムの構築に向け、将来の共同研究の拡大や企業の参画等を誘発するような、影響力のある研究シーズを選択したうえで(いわゆる「目利き」を行ったうえで)研究の継続的な支援を行う必要がある。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
78,060	78,060	62,448	15,612	0	0	0



資金の流し、費目・点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は令和2年度に公募型プロポーザル方式により提案内容(目的の合致、実施方法・内容、経済性、沖縄県の科学技術の振興や産業振興に対する波及効果)及び遂行能力(研究実績、実施体制、経営基盤、研究者等)を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

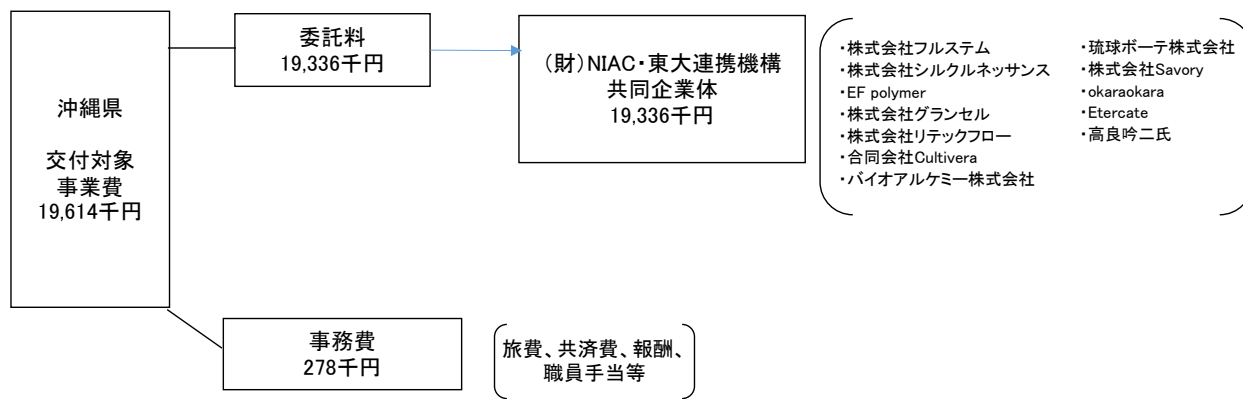
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12	知的・産業クラスター支援ネットワーク強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-イ			
担当部課名	企画部科学技術振興課	事業実施(予定)年度	H29 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	知的・産業クラスター形成の推進 Ⅲ-5		
事業内容	大学等の研究シーズ事業化機能の強化を行う						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】			R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	42,743		25,806		25,243
		(b) 予算現額	42,743		25,806		25,243
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	42,743		25,806		25,243
	B. 執行済額		38,314		23,666		19,614
	うち交付金充当額		30,650		18,932		15,691
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		89.6%		91.7%		77.7%
予算の状況の説明		<p>・予算額は、委託業務(研究シーズ事業化・人材育成支援)を主に計上した。 ・執行率は77.7%であり、主な理由は、委託業務における旅費、会議費(イベント会場費等)等を節減できたことによる執行残が発生したことによるものである。</p>					
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	地域課題解決WG立ち上げ支援、大学発ベンチャー企業の課題解決支援		目標	支援の実施	支援の実施	支援の実施	支援の実施
			実績	実施した	実施した	実施した	実施した
進捗状況説明	<p>・研究シーズの事業化に向けて、2名のコーディネーターにより、12社の大学発ベンチャー企業の経営課題解決に向けたハズオン支援を行った。 ・3大学及び3支援機関で構成する連絡会議を開催し、大学発ベンチャー企業の効果的な支援策の検討を行った。また、ベンチャー等の人材不足を支援するため、平成30年度に構築した人材マッチングを行う人材ポータルサイト「沖縄バイオ人材マッチング」の周知・広報活動を実施した。</p>						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	①地域に対して、本事業が課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標	-	80%以上	-	-	-
		実績	-	100%	-	-	-
	②大学発ベンチャー企業等に対して、本事業が課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標	-	80%以上	80%以上	80%以上	-
		実績	-	100%	71%	100%	-
	達成状況説明	<p>①大学等研究者の学外連携促進事業について、ヒアリングを実施した結果、地域ニーズである特産品の機能性評価や付加価値の創造に貢献したなどの回答があり、目標を達成した(H29~R1)。 ②支援を実施した大学発ベンチャー企業12社の内、イベントに出展した4社からアンケート回答を得たところ、「大変満足」又は「満足」で計100%の回答を得た。各社、イベントでは多くの情報収集ができた他、商談継続6件、具体的な取引交渉4件、受注1件を達成した。</p>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・国が策定した統合イノベーション戦略2020や改正科学技術・イノベーション基本法などにおいて、産学官連携の活性化やベンチャー支援強化によるイノベーションの創出などが重要とされており、その担い手となる大学発ベンチャーが重要である。</p> <p>・沖縄県の自立経済に重要であるイノベーションエコシステムの構築には大学発ベンチャーが一つの要であるが、その数は全国に比して伸び悩んでいる。経営スキルや実用化研究の未成熟さがその一因であるが、大学によってはこれらの要因に対する具体的な取組が十分に享受できていない。</p>	<p>・イノベーションエコシステムの構築に向けては、既存の大学発ベンチャー支援に加え、さらなる県内大学発ベンチャーの創出を促進する必要があることから、継続して大学発ベンチャー創出に向けた取組が必要である。</p> <p>・大学発ベンチャーの創出について支援対応がない大学等の研究者(学生含む)に対して支援する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・研究マネジメント、事業化支援に長けたコーディネーターと連携し、大学発ベンチャーの創出を見据えた事業化研究の支援及び経営スキルの醸成を目的としたハンズオン支援を行う。</p> <p>・各大学(研究者、学生等)で利用できる大学発ベンチャー創出に関するプログラムを創出する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
19,614	19,614	15,691	3,923	0	0	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は令和2年度に公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13	先端技術活用によるエネルギー基盤研究事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-イ			
担当部課名	企画部科学技術振興課	事業実施(予定)年度	H29 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	知的・産業クラスター形成の推進 Ⅲ-5			
事業内容	エネルギー基盤に係るモデルを創出し、供給源の多様化によるエネルギーの安定供給につなげるため、エネルギー基盤技術に関する共同研究について、研究費を補助する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】			R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	106,468		39,581		39,259	
		(b) 予算現額	106,468		39,581		39,259	
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0	
		(d) 前年度繰越額	0		0		0	
		A. 計(b+d)	106,468		39,581		39,259	
	B. 執行済額		65,622		33,499		34,048	
	うち交付金充当額		52,498		26,799		27,238	
	C. 次年度繰越額		0		0		0	
	執行率(%) (B/A)		61.6%		84.6%		86.7%	
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、エネルギー分野の産学連携の共同研究を促進するため、企業等の研究開発補助金(2件)、補助事業者を支援するための委託料、旅費等を計上した。 執行率は86.7%であり、主に補助事業における研究開発経費の執行残が発生したことによるものである。 						
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	先端技術を活用したエネルギー分野の産学共同研究への支援 2件		目標	4件	4件	2件	2件	
			実績	3件	2件	2件	2件	
進捗状況説明	・民間事業者と県内大学等が実施するエネルギー基盤技術に係る共同研究に対して2件支援し、目標値を達成した。							
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)	
	・試作機を用いた動作・性能試験や試験結果に基づく試作機の改良 ・技術モデルの実用化		目標	—	試作機の設計、製造	試作機の改良等	試作機の改良等	—
			実績	—	試作機の設計、製造	試作機の改良等	試作機の改良等	—
	【R4成果目標】 ①技術モデル開発事業者(補助先)による実用化		目標					100%
	【R4成果目標】 ②実用化した技術モデルを活用する新たな県内企業等(補助先以外)		目標					1技術モデルあたり1者以上
	達成状況説明	・計画どおりに試作機の改良等が完了し、成果目標を達成している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・供給源の多様化によるエネルギーの安定供給に寄与するためには、大学等の研究シーズ等を活かし、エネルギーの課題解決や産業創成に繋がる可能性のある研究等を推進していく必要があるものの、これらの研究には多額の資金と長い時間が必要とされる。</p> <p>・沖縄県において、2021年3月に「沖縄県気候非常事態」を宣言し、「2050年度に向けて温室効果ガス排出量を実質ゼロ」をめざし、再生可能エネルギー増大や省エネルギーの推進に向けて、革新的技術の導入の機運が高まっている。</p>	<p>・エネルギー研究開発には、長い時間が必要とされることから、より効果的・効率的な研究開発や事業化のペースを速める取り組みを強化する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロに向けて、引き続き、再生可能エネルギーの導入拡大、省エネルギーの推進、革新的技術の導入などの支援が必要となることから、当該取り組みのノウハウ等を、今後の産学官の共同研究事業等の取組に活かしていく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)							
	総事業費	交付対象 事業費	うち交付金 充当額	うち県 負担金	うち市町村 負担金	その他	交付対象外 経費
	40,648	34,048	27,238	6,810	0	0	6,600
<p>沖縄県 交付対象 事業費 34,048千円</p>	委託料 8,769千円	(一財)南西地域産業活性化 センター 8,769千円	(エネルギー基盤研究事業に関する研究開発管理やマッチング等のコーディネートに係る委託業務)				
	補助金 25,278千円	タイガー産業(株) 沖水化成(株) 10,902千円	(エネルギー基盤技術に係る研究費の補助) (事業者負担分(交付対象外経費) 2,760千円)				
		(株)開邦工業 14,376千円	(エネルギー基盤技術に係る研究費の補助) (事業者負担分(交付対象外経費) 3,840千円)				
	事務費 1千円						
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目		評価に関する説明			
○	支出先の選定方法は妥当か。			○委託事業者は平成29年度に、補助事業者は令和2年度に公募型プロポーザル方式により内容、実績等を勘案した上で選定しており、妥当であった。 ○補助事業者は事業費の2割を負担しており、事業内容や他事業の負担割合から判断しても妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。			
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。						
○	受益者との負担関係は妥当であるか。						
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						

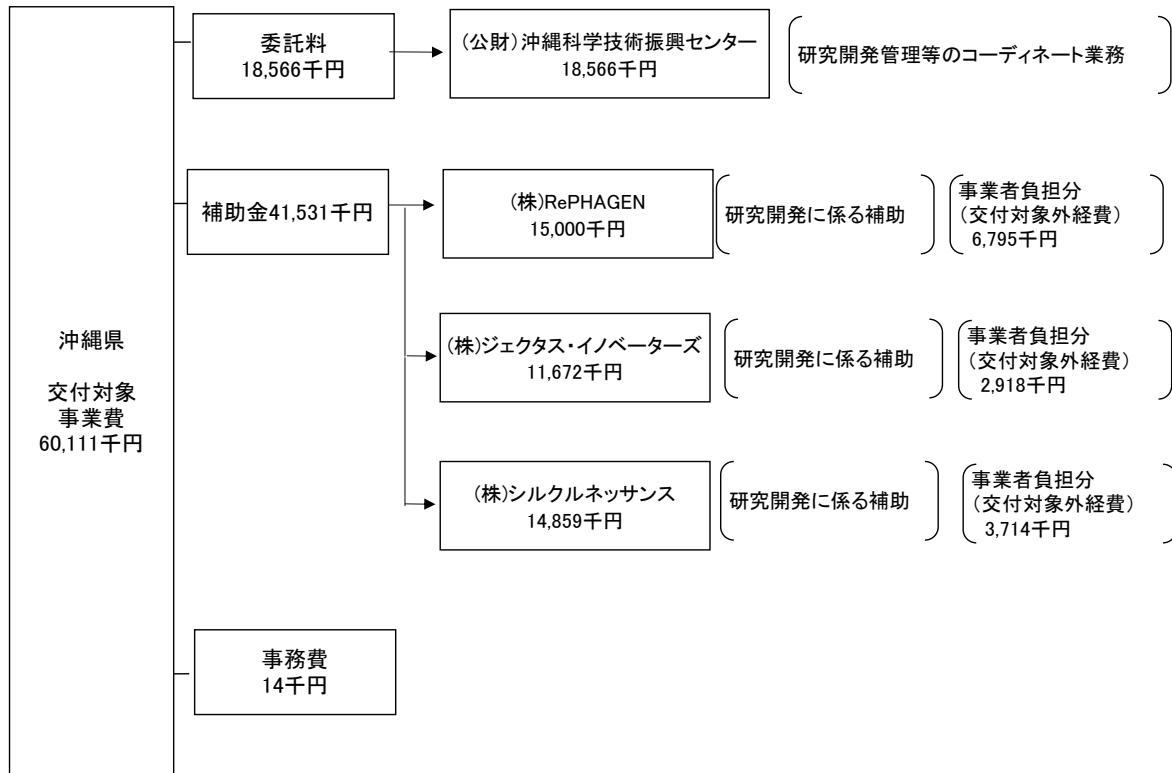
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14	沖縄感染症研究成果活用促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-イ		
担当部課名	企画部科学技術振興課	事業実施(予定)年度	H30 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	知的・産業クラスター形成の促進 Ⅲ-5		
事業内容	感染症分野の研究成果の実用化を目指すため、企業等が行う感染症分野の研究成果を活用した研究開発に対して補助する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】			R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度
	予算の状況	(a)当初予算額	54,345		44,298		62,217
		(b)予算現額	54,345		44,298		62,217
		(c)増減額(b-a)	0		0		0
		(d)前年度繰越額	0		0		0
		A.計(b+d)	54,345		44,298		62,217
	B.執行済額		47,746		43,818		60,111
	うち交付金充当額		38,197		35,054		48,089
	C.次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		87.9%		98.9%		96.6%
予算の状況の説明		・感染症分野の研究成果の産業利用等を促進するため、企業等が行う研究開発の支援に係る補助金、補助事業者を支援するための委託料、旅費等を計上した。 ・執行率は96.6%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	感染症分野の研究開発支援件数 3件以上		目標	1件	1件	1件	3件
			実績	2件	2件	2件	3件
進捗状況説明	・企業等が行う感染症分野の研究開発3件を支援した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(〇〇年度)
	試作品の作成		目標				試作品の作成
			実績				試作品の作成
	【R3年度以前の成果目標】		目標	試作品の設計又は作成の実施	試作品の設計又は作成の実施		
	試作品の設計又は作成の実施		実績	試作品の設計又は作成の実施	試作品の設計又は作成の実施		
	達成状況説明	・3事業者ともに、試作品の作成を実施したことから、目標達成とした。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・感染症分野の研究成果の産業利用を図るためには、早期段階から企業等を参画させて将来的な出口を見据えた研究開発を推進していく必要があるが、一般的にそれらの研究開発には多額の資金と長い時間が必要とされる。</p>	<p>・島嶼県である沖縄県では、自立経済を目指し、地域内で自発的にイノベーションが発生する仕組み、防疫体制強化において課題解決が求められている感染症分野に係る研究促進に資する取組が必要である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・本県において課題解決や対策が必要とされている感染症に関する基礎研究及び基盤技術の開発から、診断法・治療法・予防法の開発等の実用化研究まで、感染症対策に資する幅広いステージにおける研究開発を推進する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
60,111	60,111	48,089	12,022	0	0	0



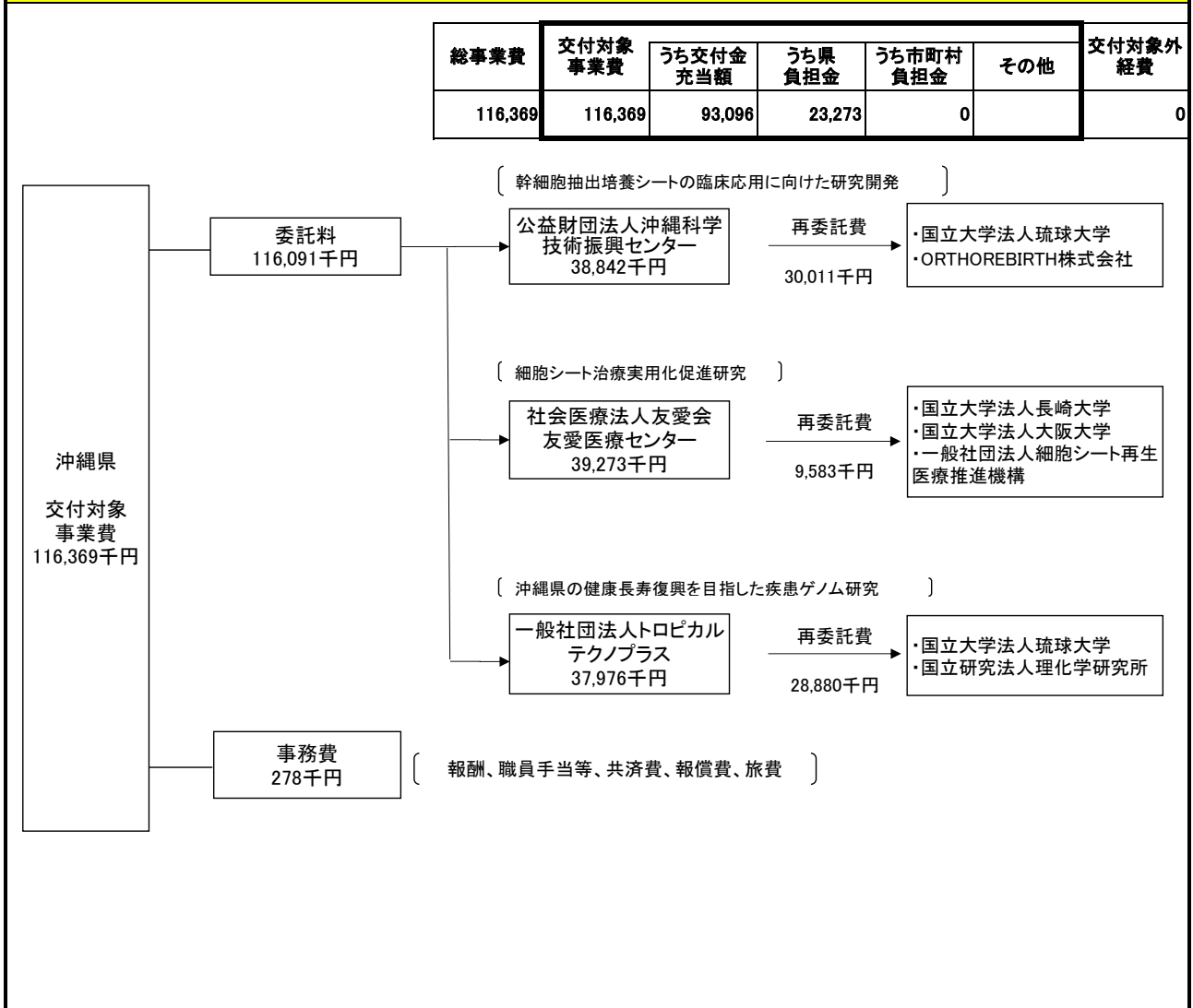
資金の 用途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○補助事業者及び委託事業者は令和3年度に公募型プロポーザル方式により内容、実績等を勘案したうえで選定しており、妥当であった。</p> <p>○補助事業者は総事業費の2~3割を負担しており、事業内容や他の事業と比較しても妥当であった。</p> <p>○費目・用途については、額の確定時において執行状況に関する帳簿、書類等を検査しており、適正であったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	16	先端医療技術実用化促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-イ				
担当部課名	企画部科学技術振興課	事業実施(予定)年度	H28 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	知的・産業クラスター形成の推進 Ⅲ-5			
事業内容	先端医療技術の研究により実用化を目指し、アジアにおける先端医療拠点の形成に資するため、再生医療及び疾患ゲノム分野の研究テーマにかかる共同研究を支援する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度/令和7年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	152,186		121,328		118,899	
		(b)予算現額	152,186		126,728		118,899	
		(c)増減額(b-a)	0		5,400		0	
		(d)前年度繰越額	0		0	10,266	0	
		A.計(b+d)	152,186		126,728	10,266	118,899	
	B.執行済額		150,036		115,378	9,566	116,369	
	うち交付金充当額		120,028		92,304	7,651	93,096	
	C.次年度繰越額		0		10,266	0	0	
	執行率(%) (B/A)		98.6%		91.0%	93.2%	97.9%	
予算の状況の説明		・執行率97.9%であり、令和3年度の予算は概ね計画的に執行できた。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	先端医療分野の共同研究		目標	3件	2件	3件	3件	
			実績	3件	3件	3件	3件	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・目標どおり3件の共同研究支援を行った。 (1) 幹細胞抽出培養シートの臨床応用に向けた研究開発 (2) 細胞シート治療実用化促進研究 (3) 沖縄県の健康長寿復興に向けた疾患ゲノム研究 							
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)	
	(再生医療分野)臨床研究の実施		目標	-	実施	実施	実施	-
			実績	-	実施	実施	実施	-
	(疾患ゲノム分野)生活習慣病の原因となる遺伝子候補の探求		目標	-	実施	実施	実施	-
			実績	-	実施	実施	実施	-
	【R4成果目標】(再生医療分野(幹細胞抽出培養シートの臨床応用に向けた研究))先端医療技術を活用した県民への治療提供		目標	-	-	-	-	1件
	【R7成果目標】(再生医療分野(細胞シート治療実用化促進研究))治験の実施		目標	-	-	-	-	-
【R4成果目標】疾患ゲノム分野)生活習慣病の原因となる遺伝子の特定		目標	-	-	-	-	1件	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・再生医療研究については、臨床向け既存技術のさらなる研究開発と他疾患への応用に向けた研究に取り組んだ。また、既存技術の臨床応用に向けた研究開発にも取り組んだ。 ・疾患ゲノム研究については、生体試料の解析を進め、生活習慣病の原因となる遺伝子の同定に取り組んだ。 							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・再生医療研究については、他疾患への応用に向けた培養技術の開発や、既存技術の臨床応用に向けた評価がなされ、実用化が促進された。</p> <p>・疾患ゲノム研究については、生活習慣病に関する新たな遺伝子領域の特定や、生活習慣病関係指標を予測するシステム(PRS)の構築がなされ、実用化が促進された。</p>	<p>・再生医療研究については、細胞シートの作製技術の確立や再生医療にかかる技術者の育成など、基盤となる成果が蓄積されていることから、実用化対象となる疾患を拡大する研究を継続することで、多くの県民へ研究成果の還元が期待できる。</p> <p>・疾患ゲノム研究については、ゲノム研究の基盤となる生体試料の収集を行ってきており、これらのゲノム解析により、生活習慣病と特定のゲノムとの関連が示されていること等から、生活習慣病の原因となる沖縄県民特有の遺伝子の同定等について継続して取り組む必要がある。</p> <p>・いずれの研究についても、引き続き実用化に向けた取り組みを推進するとともに、既存技術の陳腐化による停滞を防ぐため、国内・海外で生み出された新たな知見を取り入れて新たな研究活動を推進し、持続可能な産業の振興や、絶え間なくイノベーションが創出されるイノベーション・エコシステムの構築を促進していく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・産業化等に向け、より一層の支援が求められている、先端医療分野の共同研究について、基礎・応用・実用化といった幅広い段階を対象に支援することで、オープンイノベーションを促進する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費目 の点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者は、企画競争により決定したうえで、毎年度評価委員会による評価を行っており、妥当であると認められる。</p> <p>○費目、用途については、金額の確定時に検査を行い、適正であると認められた。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

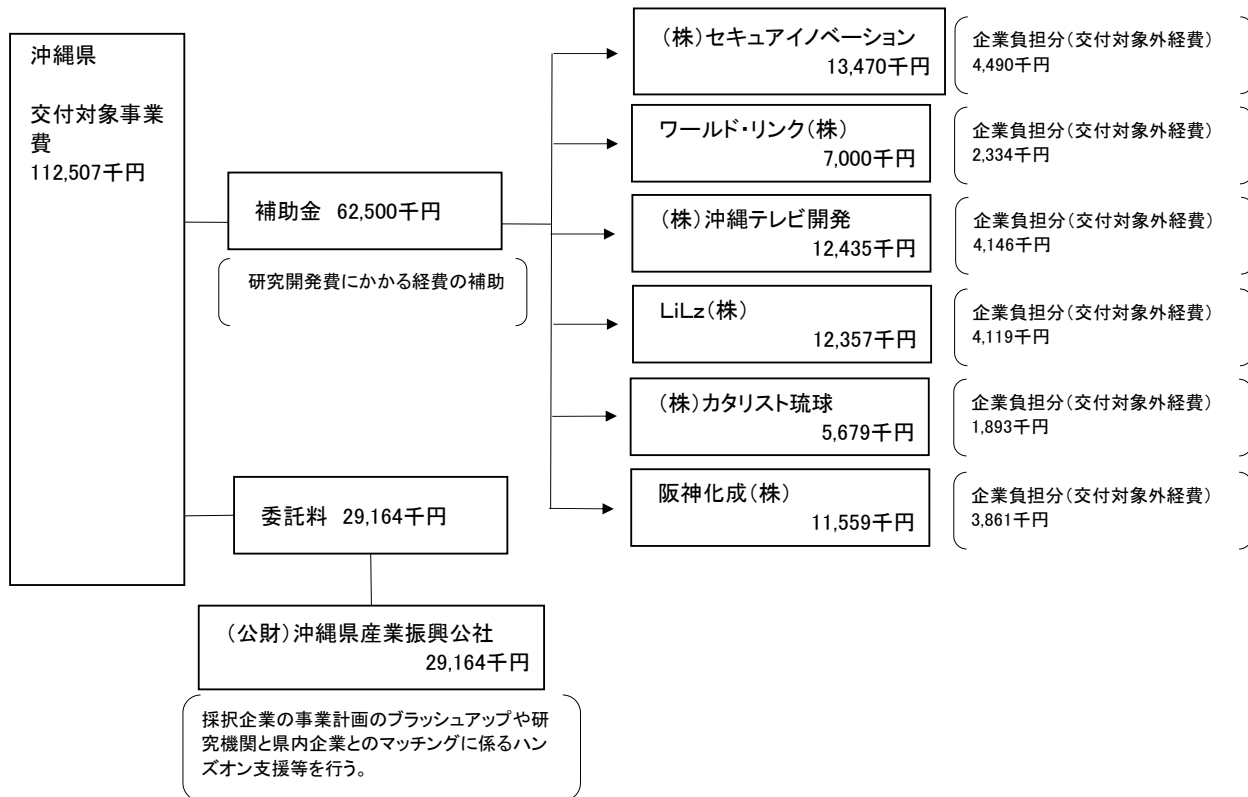
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	109	新産業事業化促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-イ			
担当部課名	商工労働部 産業政策課	事業実施(予定)年度	H26 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	知的・産業クラスター形成の推進 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	スタートアップ企業等の研究開発の事業化を図るため、優れた事業プランや研究開発に対し、補助金を交付するとともに、事業化を円滑にするためのハンズオン支援を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】			R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度
	予算の状況	(a)当初予算額	217,520		114,800		92,253
		(b)予算現額	217,520		114,800		92,253
		(c)増減額(b-a)	0		0		0
		(d)前年度繰越額	0		0		0
		A.計(b+d)	217,520		114,800		92,253
	B.執行済額		178,254		109,110		91,664
	うち交付金充当額		142,603		87,288		73,331
	C.次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		81.9%		95.0%		99.4%
予算の状況の説明		・スタートアップ企業等の優れた事業プランや研究開発に対し早期の事業化を図るため、令和元年度から新規事業(平成26年~平成30年度で実施した新産業研究開発支援事業の後継事業)として、事業計画の検証、研究開発に要する経費として補助金、ハンズオン支援の委託費等を計上した。 ・執行率は99.4%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	研究開発補助件数(継続・新規の合計)	目標	8件	16件	10件	5件	
		実績	9件	17件	11件	6件	
進捗状況説明	事業の成果を上げるため、事業化に向けた事業計画を検証するステージと事業計画に基づいて研究開発を実施する実証ステージの2つにフェーズを分けて、研究開発支援を実施していた。令和3年度は、事業計画検証ステージの新規採択はなく、研究開発実証ステージにおいて、昨年度からの継続テーマ3件と事業化検証ステージからの昇格3件の合計6件を支援した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(〇〇年度)
	【R3成果目標】 事業計画検証ステージ:1件	目標			5件		
		実績			5件		
	【R3成果目標】 研究開発実証ステージ:5件	目標		4件	5件	5件	
		実績		4件	6件	6件	
	【R3成果目標】 令和2年度に補助期間が満了した案件の事業化件数:1件	目標				1件	
		実績				3件	
達成状況説明	研究開発支援件数については、計画していた5件を上回る6件の補助を実施した。また、令和2年度に補助期間が満了した案件の事業化件数1件以上を目標としているが、3件が事業化を達成しており、「順調」であった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しており、県経済の損失が大きくなっている。 ・沖縄県のスタートアップ創出等の環境としては、沖縄県の取組に加え、金融機関を中心とした民間による支援プログラムが立ち上がるなど、スタートアップ支援の気運も高まってきている。また、コワーキングスペース施設等において定期的なイベントや交流会が継続的に行われスタートアップコミュニティが形成されつつある。 ・次期振興計画の策定にあたり、「スタートアップの促進」が位置づけ、スタートアップ・エコシステムの構築に向けて起業家の育成、創業・成長の支援体制の構築、スタートアップ等と大手企業・金融機関・研究機関・大学等との連携促進に取り組むこととしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成功したスタートアップ企業が創出されることで、県経済の飛躍的な成長や本県の抱える経済的・社会的課題の解決が促進されることが期待される。そのためには、革新的な技術やビジネスモデルで世界に新しい価値を生み出すスタートアップ企業が、連続的に生み出され、短期間での成長を促す体制(スタートアップ・エコシステム)の構築や各成長段階に合わせた支援が必要である。また、新型コロナウイルス感染症の収束後は、従来の社会システムが大きく変わる可能性が高く、このような観点からも変革に柔軟に対応できる起業家マインドを有する人材を輩出することが重要である。
	今後の取り組み方針	
<p>・これまでのアントレプレナーシップ醸成とコミュニティ形成の促進に拡充して取り組むとともに、新規性の高いビジネスモデルの事業化の検証や革新的な技術を用いた事業化を目指すスタートアップ企業を支援することで、実用化研究とすることで、革新的な技術やビジネスモデルで世界に新しい価値を生み出すスタートアップ企業の創業促進を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
112,507	91,664	73,331	18,333	0	0	20,843



資金の流 れ、費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○補助事業者は各分野の専門家で構成する採択審査委員会で、事業の新規性やビジネスモデルの優位性等を元に選定しており、妥当な選定方法であったと考える。 ○受益者である支援企業は総事業費の4分の1以上を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当と考える。 ○費目・使途は支援企業の研究活動及び商品化に必要なものが支出されており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

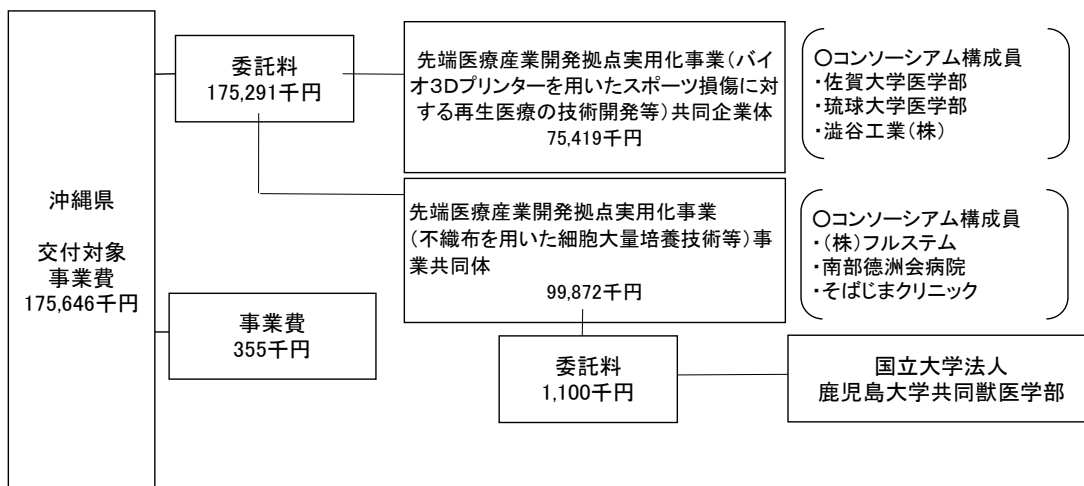
事業番号・事業名	130	先端医療産業開発拠点実用化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-イ		
担当部課名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	H30 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	知的・産業クラスターの形成の推進 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	臨床用バイオ3Dプリンターや幹細胞の大量培養技術を用いて作製した幹細胞の動物試験等による効果検証等や臨床試験を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	175,090		434,900		181,530
		(b)予算現額	175,090		131,900		181,530
		(c)増減額(b-a)	0		▲303,000		0
		(d)前年度繰越額	0		0		0
		A.計(b+d)	175,090		131,900		181,530
	B.執行済額		174,863		130,748		175,646
	うち交付金充当額		139,890		104,598		140,517
	C.次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		99.9%		99.1%		96.8%
予算の状況の説明		・臨床用バイオ3Dプリンターや幹細胞の大量培養技術を用いて作製した幹細胞の動物試験等による効果検証や臨床試験に要する経費として委託料を計上。 ・執行率は96.8%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	細胞培養加工施設の基本設計等に着手	目標	基本設計に着手する	建設場所の選定	施設設計に着手	-	
		実績	基本設計に着手する	建設場所の決定	施設整備見送り	-	
	再生医療研究の推進(外部評価委員による事業評価)	目標	非臨床試験の準備を行う。	非臨床試験の実施	非臨床試験の実施	臨床試験の実施	
実績		非臨床試験の準備を行った。	非臨床試験を実施した。	非臨床試験を実施した。	臨床試験を実施した。		
進捗状況説明	細胞の大量培養機器の開発及びその実用化に向けた県内医療機関と連携した再生医療治療の実施などを行い、活動目標を達成した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(〇〇年度)
	動物試験の実施	目標		動物試験の実施	動物試験の実施	-	
		実績		動物試験を実施した	動物試験を実施した	-	
	細胞培養加工施設の設計の開始	目標		建設場所の選定	施設の設計開始	-	
		実績		建設場所の選定候補地を決定	施設整備見送り	-	
	中型又は大型動物を用いた前臨床試験及び臨床試験の実施	目標		-	-	非臨床試験の効果検証又は臨床試験の実施	
		実績		-	-	非臨床試験の効果検証及び臨床試験の実施	
達成状況説明	細胞大量培養機器を用いた再生医療の実用化については、県内医療機関において前立腺癌全摘出後の尿失禁を対象とした細胞治療が3症例実施し、成果目標を達成した。また、膝関節症を対象とした臨床試験の実施について認定再生医療等委員会の承認を得られた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 一部の研究テーマについては臨床試験を実施出来たが、効果の発現や健康被害の有無等は一定期間の観察を要するため、術中、術後の患者の状態について注視する必要がある。 効果の検証のためには、複数の症例を比較する必要がある。 構築された技術等基盤について、県内企業への普及や展開が必要。 当該分野の研究開発は日進月歩で進められているため、県外及び国外の研究開発や国の施策動向を注視しつつ、本県の技術の競合優位性から県としての取り組み方針を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで構築した技術等基盤の活用及び県内企業による製品・技術等の実用化又は事業化を推進する必要がある。 構築された技術等基盤について、県内企業等への普及やそれによる効果など事業終了後も検証が必要

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> これまで構築した技術等基盤の活用及び県内企業による製品・技術等の実用化又は事業化を推進する。 構築された技術等基盤について、県内企業等への普及やそれによる効果などについて、事業終了事業者に対し現状の報告を求め検証を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
175,646	175,646	140,517	35,129	0	0	0



資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、平成30年度に公募型プロポーザル方式により最終年度までの事業計画、組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、事業評価委員会での審査の上継続としていることから、妥当と考える。 ○費目、使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時に支出等に関する証憑類等により確認している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	131	沖縄型医療機器製造基盤創出事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-イ			
担当部課名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	R1 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	知的・産業クラスター形成の推進 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	①医療機器の開発技術や薬事・知財等医療機器の開発・製造ビジネスに必要な知識を有する人材の育成 ②国内外の先進企業及び県内企業等とのネットワークの構築 ③医療機器開発・製造支援の実施及び支援体制構築						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	47,336		27,000		21,697
		(b) 予算現額	47,336		27,000		21,697
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	47,336		27,000		21,697
	B. 執行済額		38,794		23,223		20,209
	うち交付金充当額		31,035		18,578		16,167
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		82.0%		86.0%		93.1%
予算の状況の説明		・医療機器の開発・製造に係る人材育成から販路開拓までを包括的に支援する体制を構築するため、令和元年度から新規事業として、医療機器の開発・製造人材育成、国内外とのネットワークの構築、開発支援に要する経費として委託料を計上した。 ・執行率は93%であり、主に新型コロナウイルス感染拡大による旅費の経費節減によるものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	開発人材育成プログラムの実施	目標		実施	実施	実施	
		実績		実施	実施	実施	
	先進企業等とのネットワーク構築	目標		構築	構築	構築	
		実績		構築	構築	構築	
	医療機器開発支援と県内支援体制構築に向けた検討	目標		支援と検討	支援と検討	支援と検討	
実績			支援と検討	支援と検討	支援と検討		
進捗状況説明	・医療機器の開発人材育成プログラムとして医療機器開発ノウハウセミナーや医療機器設計開発ハンズオンセミナーをそれぞれ実施した。 ・先進企業等とのネットワーク構築に関しては台湾企業の装置に関して日本国内での承認調査を進めるなど連携を図っている。 ・医療機器開発支援と県内支援体制構築に向け、プラットフォーム構築・運営に係る課題整理及び方針の検討を行った。						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(〇〇年度)
	講座の受講者を対象とした習熟度アンケートの結果	目標		80%以上	80%以上	80%以上	
		実績		80%以上	80%以上	80%以上	
	先進企業等との連携締結件数	目標		2件	2件	1件	
		実績		1件	1件	0件	
	コンソーシアムによる支援により開発等を進めてきた製品のプロトタイプ作成件数	目標		—	—	1件	
		実績		—	—	1件	
達成状況説明	①医療機器の開発等人材育成において実施した2種類のセミナー受講者の80%以上が満足できたと回答した。また、医療機器開発の基礎的な知識・ノウハウが習得できたの設問についても受講者の80%以上が習得できたと回答しており、目標を達成した。 ②コロナ等の影響があり新たな先進企業等との連携締結に至らなかったが、台湾企業の装置に関して日本国内で承認調査を進める等、連携を図っている。 ③プロトタイプ医療機器を1件開発し目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>医療現場のニーズを基にした医療機器の開発を推進する必要がある。</p> <p>医療機器の開発から上市に至るまで包括的にサポートできる体制の構築が必要であり、専門性が高くノウハウの蓄積等、支援体制の構築が必要である。</p>	<p>医療機器の開発に関しては引き続き支援が必要。</p>
今後の取り組み方針		
<p>製品化・実用化に近い企業への開発支援を継続して行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
20,209	20,209	16,167	4,042	0	0	0
<pre> graph LR A[沖縄県 交付対象 事業費 20,209千円] --> B[委託料 20,175千円] A --> C[事務費 34千円] B --> D[医療機器産業 沖縄コンソーシアム 20,175千円] D --- E["沖縄型医療機器製造基盤創出事業委託業務 (一社)トロピカルテクノプラス (株)イフジェイ 国立大学法人琉球大学 (株)クランセル 学校法人知晴学園 (株)ニューロシューティカルズ沖縄"] </pre>						
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目		評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者はR1年度に公募型プロポーザル方式により選定した。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○事業は、県内における医療機器開発・製造基盤の構築を目的に県からの委託として実施しており、予算規模や事業内容は妥当であったと考えている。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・使途については事業目的達成に必要なであったかの観点から支出等に関する書類を確認しており、適正であった。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	132	健康・医療産業における情報技術活用促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-イ			
担当部署名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	R1～R3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	知的・産業クラスター形成の推進 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	バイオデータの解析・加工等ができる人材育成プログラムを開発し、技術者を育成する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】			R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度
	予算の状況	(a)当初予算額	29,229		18,500		14,734
		(b)予算現額	29,229		18,500		14,734
		(c)増減額(b-a)	0		0		0
		(d)前年度繰越額	0		0		0
		A.計(b+d)	29,229		18,500		14,734
	B.執行済額		27,096		17,787		13,424
	うち交付金充当額		21,676		14,230		10,740
	C.次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		92.7%		96.1%		91.1%
予算の状況の説明		・情報技術によりバイオデータの解析・加工等ができる技術者(バイオインフォマティシャン)を育成するため、令和元年度から新規事業として、人材育成プログラムの開発・実施に要する経費として委託料を計上した。 ・執行率は91.1%であり、不用の主な理由は、委託料の確定減(978千円)によるものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	人材育成プログラムの検討・開発	目標	-	実施	実施	-	
		実績	-	実施	実施	-	
	人材育成プログラムによる技術者の育成	目標	-	-	-	育成	
		実績	-	-	-	実施	
進捗状況説明	・県内企業、大学等への要望調査等を基に人材育成プログラムを実施し、バイオインフォマティシャンの育成を実施した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(〇〇年度)
	受講者のアンケートによる知識・ノウハウを習得できたとの回答	目標		80%以上	80%以上	80%以上	
		実績		81%	63%	89%	
	達成状況説明	初級コースは座学4回、実習3回、中級コースは座学9回、実習4回をオンライン・オンデマンド形式で開催した。課題実習は2テーマ実施した。受講者にアンケート調査を行ったところ、初級コース(座学94%、実習87%)、中級コース(座学79%、実習94%)を平均して80%以上の受講者から大変分かり易かった・分かり易かったとの回答が得られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者のアンケート調査などを参考に、特に難しいと答えた科目については、理解度を上げるための自主学習用のテキスト・コンテンツを充実させる。 ・新型コロナ感染拡大の影響により、オンライン・オンデマンド形式で実施した講座は受講者から好評であったため、引き続き活用を検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習用のテキストやコンテンツを充実させるとともに、参考書籍やWeb上の情報を紹介するなど、学習をサポートする工夫が必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・受講者のアンケート調査などを参考に、自主学習用のテキスト・コンテンツを充実させ、受講者の理解度を高める人材育成プログラムを引き続き実施する。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)							
	総事業費	交付対象 事業費	うち交付金 充当額	うち県 負担金	うち市町村 負担金	その他	交付対象外 経費
	13,424	13,424	10,740	2,684	0	0	0
<pre> graph LR A[沖縄県 交付対象 事業費 13,424千円] --> B[委託料 13,414千円] A --> C[事務費 10千円] B --> D["健康・医療産業における 情報技術活用促進事 業受託コンソーシアム 13,414千円"] D --- E["バイオデータの解析・加工等ができる人材育成プ ログラムの開発と実施にかかる委託業務 (独)沖縄工業高等専門学校 (一社)トロボカルテクノプラス"] C --- F["謝金 旅費"] </pre>							
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 項目	評価	点検項目		評価に関する説明			
	○	支出先の選定方法は妥当か。		<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については要望調査、人材育成プログラムの開発・実施等の実施内容から適正な規模であったと考える。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 			
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。					
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					

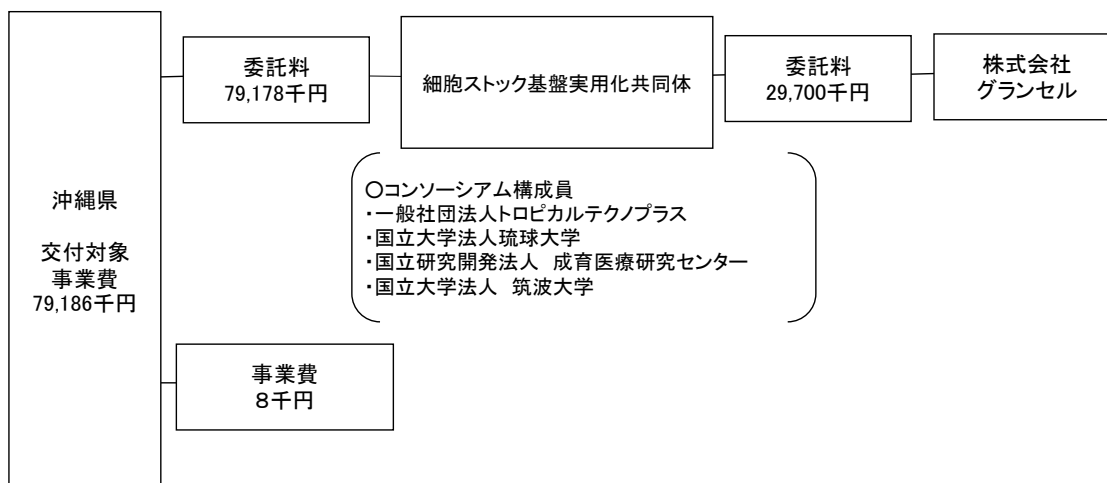
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	133	再生医療産業活性化推進事業（細胞ストック基盤実用化事業）	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-イ			
担当部課名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施（予定）年度	R2 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	知的・産業クラスターの形成の推進 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ストックした脂肪由来幹細胞の特定の遺伝子情報等の解析を行う。 ・ストックした脂肪由来幹細胞を再生医療等製品開発や再生医療に用いることを可能とするため、企業ニーズ等を踏まえた幹細胞の取り扱い手順書を作成する。 						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（令和4年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】			R1年度	R1年度（繰越）	R2年度	R2年度（繰越）	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額			47,400		79,490
		(b) 予算現額			47,400		79,490
		(c) 増減額 (b-a)			0		0
		(d) 前年度繰越額			0		0
		A. 計 (b+d)			47,400		79,490
	B. 執行済額				47,153		79,186
	うち交付金充当額				37,722		63,349
	C. 次年度繰越額				0		0
	執行率（%）(B/A)				99.5%		99.6%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・県内でストックした脂肪由来幹細胞の産業利用を促進するため、令和2年度より新規事業（平成29年～令和元年度で実施した再生医療産業活性化推進事業の後継事業）として、再生医療等製品の開発等に細胞を用いる際に必要となる情報（特定の遺伝子情報等）などの解析等に要する経費として委託料を計上した。 ・執行率は99.6%であり、概ね計画的に執行できた。 					
活動目標（指標）及び進捗状況	R3活動目標（指標）		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	ストックした脂肪由来幹細胞の特定の遺伝子情報等の解析に着手する	目標			ストックした細胞の情報解析に着手	-	
		実績			ストックした細胞の情報解析に着手した	-	
	ストックした脂肪由来幹細胞の特定の遺伝子情報等の解析を行う。	目標				ストックした幹細胞の情報解析を行う。	
		実績				ストックした幹細胞の情報解析を実施した。	
	細胞の作業手順書を作成する。	目標				細胞の取扱手順書を作成する。	
		実績				細胞の取扱手順書を作成した。	
	進捗状況説明	ストックした細胞の情報解析及びそれらをカタログ化するとともに、細胞の品質評価手法の開発及び各種取扱手順書を作成し、活動目標を達成した。					
	成果目標（指標）及び達成状況	R3成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R1年度	R2年度	R3年度
ストックした細胞について特定の遺伝子情報等の解析を実施		目標			ストックした細胞の情報解析を実施	-	-
		実績			ストックした細胞の情報解析を実施した	-	-
ストックした幹細胞を企業へ提供できる体制構築		目標				幹細胞の提供体制を構築する。	-
		実績				幹細胞の提供体制を構築した。	-
【R4年度成果目標】		目標				1件以上	
達成状況説明		体性幹細胞の採取から品質評価、輸送までの企業に供給する一連の流れを対象にした試験を実施し、一連の技術および手順を標準操作手順書（SOP）化することで、品質の担保された幹細胞を確実に企業に供給できる体制を構築したことから成果目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 構築された技術等基盤について、県内企業への普及や展開が必要。 当該分野の研究開発は日進月歩で進められているため、県外及び国外の研究開発や国の施策動向を注視しつつ、本県の技術の競争優位性から県としての取り組み方針を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで構築した技術等基盤の活用及び県内企業による製品・技術等の実用化又は事業化を推進する必要がある。 構築された技術等基盤について、県内企業等への普及やそれによる効果など事業終了後も検証が必要
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> これまで構築した技術等基盤の活用及び県内企業による製品・技術等の実用化又は事業化を推進する。 構築された技術等基盤について、県内企業等への普及やそれによる効果などについて、事業終了事業者に対し現状の報告を求め検証を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
79,186	79,186	63,349	15,837	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、前事業で公募型プロポーザル方式により選定しており、その際に構築された細胞ストック基盤の産業利用に向けた取組であることなど事業の継続性等の観点から、妥当であるとする。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時に支出等に関する証憑類等により確認している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	134	先端医療産業技術事業化推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-イ			
担当部署名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	R2 ~ R3 年度	知的・産業クラスターの形成の推進			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関と連携した医師主導治験等の実施(委託) 医療機関と連携した再生医療等の先端医療技術の治療実証(補助) 						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】	予算の状況	(a) 当初予算額	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度
		(b) 予算現額			0		118,480
		(c) 増減額(b-a)			149,732		118,480
		(d) 前年度繰越額			149,732		0
		A. 計(b+d)			0		0
	B. 執行済額				142,889		116,227
	うち交付金充当額				114,311		92,981
	C. 次年度繰越額				0		0
	執行率(%) (B/A)				95.4%		98.1%
	予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> 本県の競争力強化のため、県内外の企業や県内医療機関と連携した治験体制の構築や、再生医療等の先端医療産業技術の実用化に向けた研究開発等に要する経費として委託料等を計上した。 執行率は98.1%であり、概ね計画的に執行できた。 				
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	医療機関と連携した再生医療に係る治験等実施体制の構築にかかる環境整備	目標			治験実施体制の構築に係る環境整備		
		実績			治験実施体制の構築に係る環境整備を行った		
	医療機関と連携した再生医療等の先端医療技術の治療実証にかかる環境整備	目標			先端医療技術の治療実証にかかる環境整備		
		実績			先端医療技術の治療実証にかかる環境整備を行った		
	医療機関と連携した再生医療に係る治験等の実施	目標				再生医療に係る治験等を実施する。	
		実績				再生医療に係る治験等が実施可能となった。	
	医療機関と連携した再生医療等の先端医療技術の治療実証による効果検証への支援	目標				治験実証による効果検証への支援を実施する。	
		実績				治験実証による効果検証への支援を実施した。	
進捗状況説明	委託事業では、医師主導治験実施に向け、PMDAや治験審査委員会の承認得た。 補助事業では、医療機関と連携し先端医療技術(培養上清治療)の治療実証(3症例)を支援したことから、活動目標は概ね達成された。						

R3成果目標(指標)		基準値	R1年度	R2年度	R3年度	目標値
		(〇〇年度)				(〇〇年度)
再生医療に係る医師主導治験の体制構築	目標			1件		
	実績			1件		
再生医療等技術の治療実証への着手	目標			1件		
	実績			1件		
医師主導治験等の実施	目標				1件	
	実績				1件	
再生医療等技術による治療実証	目標				1件	
	実績				3件	
達成状況説明	委託事業では、PMDAや治験審査委員会への対応など医師主導治験に向けた環境整備を行い、倫理審査委員会の承認を得られたことから、治験が開始できる状態となり、成果目標は概ね達成された。また、補助事業では、医療機関と連携し先端医療技術(培養上清治療)の治療実証(3症例)を支援したことから、成果目標を達成した。					

R3-No.134

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 一部の研究テーマについては治療実証等を実施出来たが、効果の発現や健康被害の有無等は一定期間の観察を要するため、術中、術後の患者の状態について注視する必要がある。 効果の検証のためには、複数の症例を比較する必要がある。 構築された技術等基盤について、県内企業への普及や展開が必要。 当該分野の研究開発は日進月歩で進められているため、県外及び国外の研究開発や国の施策動向を注視しつつ、本県の技術の競合優位性から県としての取り組み方針を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで構築した技術等基盤の活用及び県内企業による製品・技術等の実用化又は事業化を推進する必要がある。 構築された技術等基盤について、県内企業等への普及やそれによる効果など事業終了後も検証が必要
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> これまで構築した技術等基盤の活用及び県内企業による製品・技術等の実用化又は事業化を推進する。 構築された技術等基盤について、県内企業等への普及やそれによる効果などについて、事業終了事業者に対し現状の報告を求め検証を行う。 		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
126,346	116,227	92,981	23,245	0	0	10,119
<p>沖縄県</p> <p>交付対象事業費 116,227千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 76,090千円 → 先端医療産業技術事業化推進事業共同体 <ul style="list-style-type: none"> 〇コンソーシアム構成員 <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人トロピカルテクノプラス 国立大学法人琉球大学 株式会社Grancell 委託料 5,500千円 → 公立大学法人横浜市立大学 補助金 40,000千円 → 先端医療産業技術事業化推進事業(県内で持続可能な再生医療の製造・治療システム実証事業)事業共同体 (交付対象外経緯費 10,119千円) <ul style="list-style-type: none"> 〇コンソーシアム構成員 <ul style="list-style-type: none"> 株式会社フルシステム 医療法人形成会 当山美容形成外科 セルソース株式会社 事業費 136千円 						
評価	点検項目			評価に関する説明		
○	支出先の選定方法は妥当か。			○委託及び補助事業者は、公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であると考えます。		
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。					
○	受益者との負担関係は妥当であるか。			○費目、使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時に支出等に関する証憑類等により確認している。		
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					

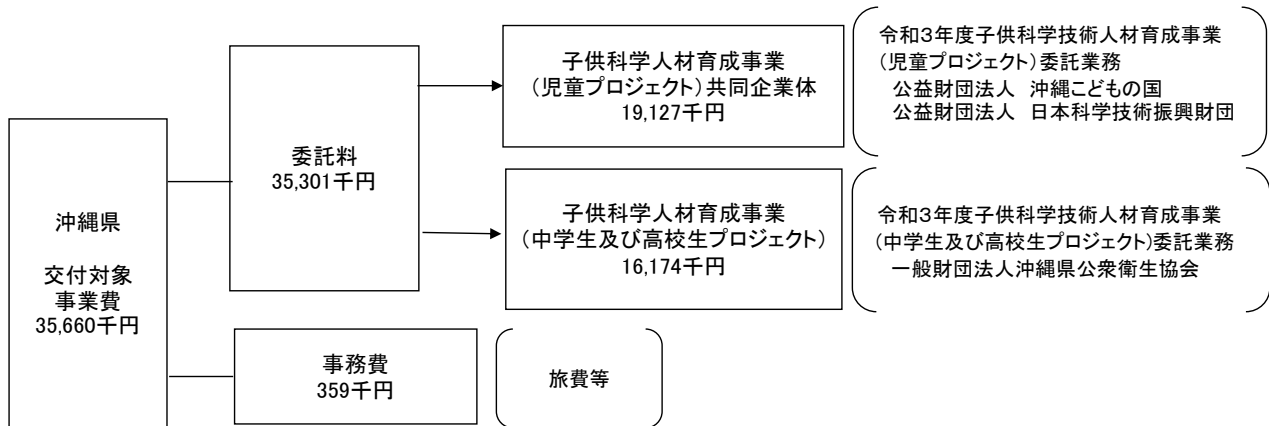
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	15	子供科学技術人材育成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-エ			
担当部課名	企画部科学技術振興課	事業実施(予定)年度	H30 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所			
事業内容	子どもたちの科学技術に対する興味、関心を高め、沖縄の科学技術、産業振興を担う人材の育成に繋げるため、OIST、琉球大学、沖縄高専等と連携し、科学教室、科学教育プログラム等を実施する。						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	47,240		41,855		40,172
		(b) 予算現額	47,240		41,855		40,172
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	47,240		41,855		40,172
	B. 執行済額		46,033		38,474		35,660
	うち交付金充当額		36,826		30,779		28,528
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		97.4%		91.9%		88.8%
予算の状況の説明		執行率は88.8%であり、主に委託料の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	1. 科学体験教室の開催(児童)40回 2. 課題解決型プログラムの開催(中学生)1回 3. 先端科学教育プログラムの開催(高校生)1回	目標	① 40回 ② 1回 ③ 1回	① 40回 ② 1回 ③ 1回	① 40回 ② 1回 ③ 1回	① 40回 ② 1回 ③ 1回	
		実績	① 70回 ② 3回 ③ 1回	① 76回 ② 3回 ③ 1回	① 49回 ② 3回 ③ 1回	① 70回 ② 3回 ③ 1回	
進捗状況説明	・小学生対象の児童プロジェクトでは、児童館等において科学体験教室を70回実施し、目標値を達成した。 ・中学生プロジェクトでは課題解決型の実践講座を3回(IT・ロボット、健康・食品、海洋環境)実施し、目標値を達成した。 ・高校生プロジェクトでは、5分野(脳科学、遺伝子科学、知能情報、自然物理、エネルギー科学)のオンライン型の科学技術講座を1回実施し、目標値を達成した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(〇〇年度)
	(活動目標1、2関連) ・参加者(保護者含む)について、科学技術に対する興味、関心が高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標	—	—	① 80% ② 80% ③ 70%	① 80% ② 80% ③ 70%	—
		実績	—	—	① 86% ② 80% ③ 71.5%	① 88% ② 97.1% ③ 87.5%	—
	【R1年度以前】 ・活動目標①、②関連 参加者(保護者含む)について、科学技術に対する興味、関心が高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標	—	80%	—	—	—
		実績	—	① 84.3% ② 85.7% ③ 70%	—	—	—
	・活動目標③関連 理系進学(就職)希望率 70%以上	目標	—	—	—	—	—
実績		—	—	—	—	—	
達成状況説明	① 出前型科学教室(児童プロジェクト)に参加した児童へのアンケート結果は、科学に対する興味・関心が高まった割合が88%であり、目標値を達成することができた。 ② 中学生プロジェクト参加者に対するアンケート結果は、理科や科学技術が好きになったと回答した割合が97.1%であり、目標値を達成することができた。 ③ 高校生プロジェクト参加者に対する理系進学希望率アンケート結果は、「進みたい(62.5%)」、「やや進みたい(25.0%)」であり、理系進学希望率は合計87.5%となり、目標値を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 大学や企業等と連携し、課題解決に向けた討論会等の実施により、科学に対する理解を深めるとともに理系研究者にとって必要な能力(科学的な思考力や判断力、説明能力等)の養成を目的とした取組を実施した。 コロナ禍等移動制限がある場合においても一定の事業実施効果を維持できるよう、オンラインを活用しプログラムを実施した。 プログラムの参加者については、理科系科目の習熟度について多様な参加者がいることから、プログラムに対する参加姿勢にばらつきがある。 大学や研究機関、企業等による、科学イベントや科学に関する取組が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムを実施する上で、プログラムの難易度を示し、より多くのバックグラウンドを持つ子ども達が参加できるように検討する必要がある。 大学や研究機関、企業等による科学イベントなどの取組と連携し、県全体で科学技術の普及・啓発の気運を高める取組を進める必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> プログラムの実施について、科学技術に対する興味、探究心を喚起することを目的としたボトムアップ型講座、科学技術に対する更なる探究心の向上を目的とするハイレベル型講座を設け、幅広い人材の育成を図る。 大学や研究機関、企業等の科学技術に関するイベントや取組と連携し、ある一定期間内に各機関が実施する取組を通じて、県民への科学技術の普及・啓発を進める。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
35,660	35,660	28,528	7,132	0	0	0



資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、公募型プロポーザル方式により提案内容、業務体制、予算規模などを総合的に勘案して選定しており、妥当であると認められる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、金額の確定時に検査を行い、適正であると認められた。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	